

広報やすぎ



とげなかね

©安来市

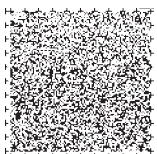


原子力防災訓練を実施

- 健康の窓
- 市立病院改革プラン平成23年度評価の公表
- たうんとぴつくす
- 新着図書紹介
- ジョーホーの森
- 昔さんぽ
- やすぎ再発見



「男の料理教室」



安来市の人口と世帯数

平成25年1月31日現在

男19,874人（－32） 女21,771人（－50） 合計41,645人（－82）
14,047世帯（－11）

安来市への応援に 感謝します

平成 20 年 4 月に創設された、ふるさと寄附（ふるさと納税）は、居住の有無に関わらず、自分が選んだ自治体に寄付できる制度で、寄付の金額に応じて、税額控除や特産品を受け取ることができる特典が設けられ、その内容は自治体によってさまざまです。

開始から 5 年目を迎え、この制度による、安来市への応援の輪が広がっています。具体的には、今年度の寄付の申込件数が、12 月末時点で 688 件と、前年度同時期の 294 件を 2 倍以上も上回り、市政運営を担う立場として、大変心強く励みとなっています。

要因としては、制度の浸透に加え、特典の魅力アップ、東日本大震災後の「絆」や「ふるさと意識」の高まり、安来市に限れば、平成 20 年の NHK 連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」の放送、平成 23 年の安来市節保存会 100 周年事業など、全国に向けて安来市をアピールする機会があったことなどが挙げられると考えています。

安来市をふるさととする人、安来市に思いを寄せてくださる人、特典を魅力的に感じられた人など、全国各地からのご厚志をひしと感じており、寄せられた寄付金は、環境保全や教育、医療・福祉などの充実に役立て、住みよいまちづくりを進めてまいります。

そして、特典である特産品を通して、安来市の魅力を全国に発信するチャンスととらえています。



市長 短信

2 月 12 日、山陰にスポットをあてた情報誌「さんいんキラリ」のスタッフが市役所を訪れ、安来市の文化や歴史などについて取材を受けました。同誌春号（3 月下旬ごろ発刊予定）で、安来市が特集される予定です。

今年は、広瀬町で
尼子一族全国大集
会・戦国尼子フェ
スティバルを開催
するよ！
(9月28日(土)・29日(日))



目次 ● 平成 25 年 3 月号

Vol. 101

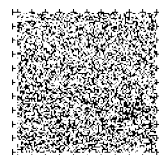
■ 市長室だより	2	■ 新着図書紹介	13
■ 原子力防災訓練を実施	3	■ 「ジョーホーの森」 各種お知らせ	14
■ 健康の窓	6	■ 昔さんぽ・やすぎ再発見（裏表紙）	
■ 市立病院改革プラン			
■ 平成 23 年度評価の公表	8	● 「市民カレンダー」（別刷り）	
■ たうんとびつくす	10	■ 3 月の行事・日曜日・祝日診療 など	

今月の表紙

「男の料理教室」

薄く均等に伸ばすのがそば打ちの極意。そば生地に打ち粉を振り、破けないように慎重にのばします。ぎこちない手つきながらも、難しい作業を見事にこなし、仲間とともに楽しみながら、そば作りに打ち込みました。

・撮影日 2月11日
・撮影場所 安田交流センター





原子力災害に備え 2県6市で合同防災訓練

初動対応・住民避難を実践検証

- ①…要援護者の搬送を想定した避難訓練に取り組む自主防災ひろせの皆さん。
- ②…避難者を乗せたバスが広瀬小を出発。
- ③…被ばく量の測定を受ける児童。



- ④…災害対策本部会議を開き、事故状況などの情報を共有する担当職員。
- ⑤⑥…行政告知端末と広報車で避難指示を伝達。
- ⑦…避難所に向かうバスに乗り込む避難者。

初動対応訓練
午前7時、中国電力から事故発生のお知らせを受け訓練を開始。安来庁舎内に災害対策本部を設置して運営訓練を行い、県や安来警察署などの防災関係機関

安来市における訓練

松江市にある中国電力株式会社島根原子力発電所から30⁺圏域の島根・鳥取両県、安来・松江・出雲・雲南・米子・境港の6市が1月26日、原子力事故を想定した合同防災訓練を行いました。訓練は、島根原発2号機が、送電線事故によりすべての電源を失い、原子炉が冷却できなくなったという想定で実施。防災関係機関相互の連携による、事故発生時の初動対応や通信連絡訓練、県が策定した広域避難計画に基づき、原発から30⁺圏外への住民避難訓練など、実践的な訓練を通じて防災体制を検証しました。

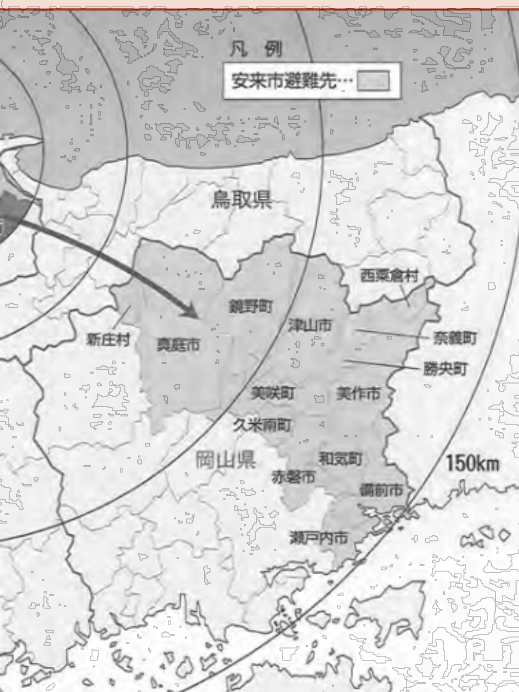


との通信連絡による情報収集や伝達、会議の開催、住民広報など、事故直後の初動対応を確認しました。また、県の要請を受け、市内各所を巡回し、サーベイメータ（放射線測定器）を使用した放射線量の測定にあたりました。

広瀬地区での避難訓練

島根原発から30⁺圏域に位置する広瀬地区では、住民参加による屋内退避訓練と、30⁺圏外への避難訓練を行いました。このうち、避難訓練には、地区住民らで組織する「自主防災ひろせ」の約50人と、広瀬小学校6年の児童ら約40人が参加。午前9時30分、行政告知端末と広報車で避難指示の放送が流れると、住民参加者は、広瀬中央交流センターから一時集結所の広瀬小学校校庭まで徒歩で移動。児童も教員の指示に従い、速やかに教室から校庭に移動し、待機していたバス3台に乗り込んで、避難先のわかさ会館（伯太中央交流センター）へ移動しました。

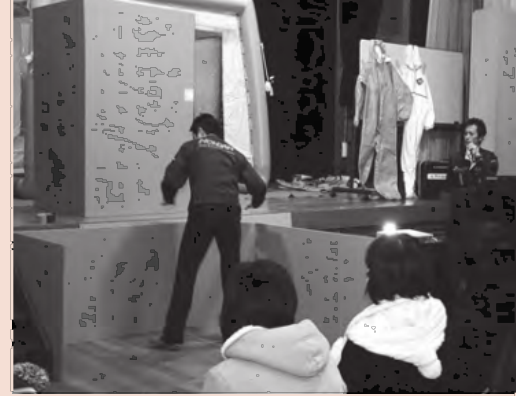
また、避難先では、被ばくしていないかどうかを放射線技師らが測定する、スクリーニング（放射線量検査）を体験しました。



原子力災害の心構えなど学ぶ

訓練終了後、わかさ会館では、訓練参加者を対象とした原子力防災学習会等を開催しました。

はじめに、避難時の留意点について説明した安来警察署警備課の曾田弘道課長は、避難する際の戸締まり・施錠の徹底や非常用持ち出し袋の活用などを呼び掛けたほか、地域・家族で話し合い、避難先や連絡方法を確



▲段ボールを使った間仕切り実演。

▼住民（上）と児童に分かれて行った講演。放射線の基礎知識や防護対策などについて学びました。



認しておくなど、災害に対する平素の心構えを助言しました。

続いて、市と災害時応援協定を結ぶ、日段株式会社安来工場

の景山英樹工場長が、同社で製造する段ボールを使った間仕切りの組み立てを実演。避難所でのプライバシー確保に役立つもので、災害時には段ボールの供給など協力していきたいと、心強い言葉をいただきました。

このほか、市消防本部職員が細菌や化学物質などによる災害（NBC災害）の際に消防隊員が着用する安全確保の装備などを紹介したほか、（独）原子力安全基盤機構と県原子力安全対策課の担当者による放射線に関する講演もあり、参加者は、防災知識について理解を深めました。

訓練を終えて（参加者にインタビュー）



宇田川茂道さん

「真剣にやろう」。訓練開始前、参加者にこのように呼び掛けたのは、広瀬地区の自主防災組織「自主防災ひろせ」会長として、住民避難訓練に参加した宇田川茂道さん。

訓練では、けが人や体の不自由な人との避難を想定し、車いすと簡易担架を準備。配役はその場で決めるなど、よりリアルな

教室から校庭までの避難を、「静かにして、先生の言うことを聞いて行動できた」と振り返った、広瀬小学校6年の山本万智子さん。災害時は、いかに落ち着いて行動できるかどうか

が大切です。

また、今回の訓練を通じ、互助の思いをさらに強めた山本さんは、「（災害が起きたら）周り

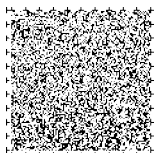
状況となるよう工夫したと話します。そして、バス（一時集結所）までの移動を真剣な表情で取り組む参加者の様子に、「うまくいった」と述べ、有意義な住民誘導となった今回の訓練を振り返りました。

「災害時の避難は、健常者ばかりではないので、要援護者を地域全体で掘り起こすことも必要。各自自治会にいきない、地域の防災に役立てたい」と話す宇田川会長。地域の災害対応力の向上を目指し、取り組もうとする熱意が伝わりました。

の人も助けられるようにしたい」と話しました。



避難所でスクリーニング（放射線量検査）を受ける山本さん（左）。





連なる放水アーチ～消防出初式～



平成 25 年安来市消防出初式が1月13日、市民会館と安来港で行われ、集まった消防関係者 553 人が、今年一年の防火・防災を願い、気持ちを新たにしました。

このうち、大勢の市民が見物に訪れた安来港では、岸壁に 48 台の消防車両が並び、機械器具の点検後、サイレンとともに一斉放水。新春の空に幾重ものアーチが描かれました。

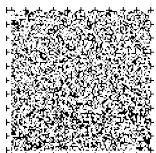


消防署と消防団が合同訓練

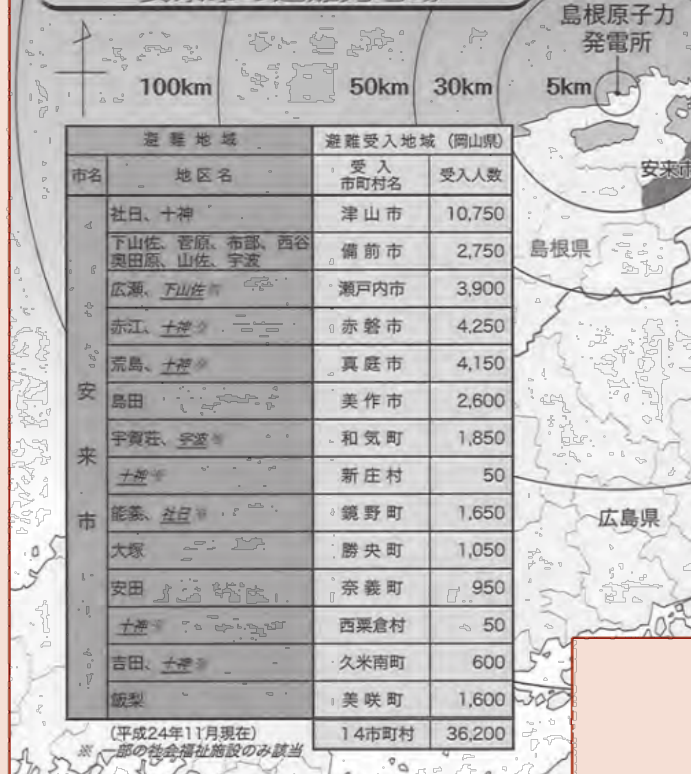


文化財防火デー（1月26日）を前に、消防署広瀬分署と消防団布部分団の約 30 人が1月20日、県指定文化財の富田八幡宮（広瀬町）で、社殿付近の山林火災を想定した消防訓練を行いました。

林野火災など、火災現場と給水地点が離れた場合に用いる中継送水の技術向上が目的で、訓練では、給水地点の一つを、出火場所から約 280 ｍ離れた境内近くの祖父谷川に設定。川から水をくみ上げ、消防ホースをつなぎポンプを中継して送水するため、伝令やポンプの送水圧力を調整する技術も求められます。参加した団員は、迅速で正確な消火作業が行えるよう、消防署員の指導を受けながら手順を確認していました。



安来市の避難先地域



▲大規模な原子力災害時における安来市の避難先地域を表した図。
（出典：島根県原子力安全対策課）

万一の原子力災害に備え 「広域避難計画」を 策定します



福島原発の原子力災害を受け、安来市では、島根・鳥取両県および島根原発から30km圏域の松江・出雲・雲南・米子・境港の5市と連携し、大規模な原子力災害が発生した場合における広域避難計画の策定作業を進めています。

この計画は、「原子力災害対策重点区域」に指定される、原発から30km圏内の住民避難について、避難先や避難ルートなど

を示すもので、これまでに島根県と一緒に調整した結果、安来市の避難先は、上図のとおり、岡山県内に決定しました。

現在、計画の具体的内容を検討しており、本計画は、本年3月に策定する予定です。

問い合わせ
危機管理課
TEL 23・3171

豊かな老後のために

心と体の元気づくり

年をとると、体の機能などが低下してくるのは仕方がないと思っていないでしょうか。長い人生を自分らしく過ごすためには、心と体の健康寿命を伸ばすことが大切です。生活に介護予防を取り入れて、健康長寿を目指しましょう。



介護予防とは

主に高齢者が、
●介護を必要とする状態を未然に防ぐ

●介護を必要とする状態であっても、それ以上悪化させないようにする

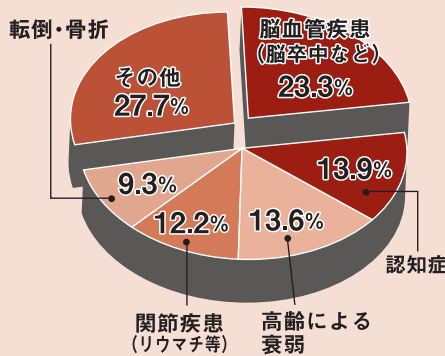
この2つの取り組みをいいます。

介護予防が目指しているものは、「体を動かすことに無理がなく、生活に必要なことが自分で行え、社会活動に参加でき、自分らしく生きがいをもって暮らせる生活」です。

介護が必要となる原因

介護が必要となる原因の多くは、認知症、高齢による衰弱、関節疾患、転倒・骨折などです（図1参照）。これらは、「家に閉じこもる、病気でしばらく寝こむ、身支度をいつも人に頼る」など、体を動かさない生活が原因で起きる「心身機能低下」と、加齢とともに表れる「老化」によるものが原因です。

図1 寝たきりとなった原因



老化のサイン、見逃さないで

加齢とともに表れる「老化」は、ある程度は仕方ありません。しかし、そのまま放っておくと体は弱くなるばかり。生活する上で支障が出たり、趣味を楽しむ意欲がなくなったりして、

生活の質を低下させます。

生活の質を保ち、改善させるためには、生活習慣病予防に加え、日常生活における老化のサインを早期に発見し対応する（介護予防）ことが大切です。

最近、転びやすくなった(転倒・骨折)

家事が面倒になった(生活機能低下)

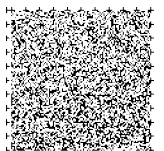
食欲がなく、何を食べてもおいしく感じない(低栄養)

日常生活における「老化のサイン」(一例)



・物忘れが増えた(認知症・うつ)

・硬いものが食べづらい(口腔状態の悪さ)



「貯筋」の4大特典

1 脳が衰えにくくなる

筋肉を積極的に動かせば、
脳も若々しくなります。

2 太りにくくなる

筋肉が増えると、
基礎代謝が高まります。

3 疲れにくくなる

関節の動きも滑らかに。
日常動作に余裕が生まれ、
疲れがたまりにくくなります。

4 骨も衰えにくくなる

筋肉を支えている骨は、
適度に刺激され衰えにくくなり
ます。

貯筋とは、体に筋肉を貯めておくことです。筋力が衰えると新陳代謝が低下して、全身に栄養や酸素を十分に送れなくなります。その結果、脳や内臓の働きが悪くなり、生活習慣病にかかりやすくなります。



「貯筋」してますか？

貯筋不足は寝たきりに直結
加齢とともに特に衰えやすいのは太ももの筋力。何もしないでいると、1年間に1%ずつ低下していくといわれています。貯筋で筋力を維持しておかないと、「つまずき↓転倒↓骨折↓寝たきり」という構図に直結します。寝たきりになると、筋肉は1日0・5%ずつ萎縮していくので、回復も遠のきます。ウォーキングや筋トレなどの運動を実践し、貯筋を始めましょう。

介護予防のため運動教室

いきいき健康教室

週1回、介護予防についての内容を取り入れた講話と運動を行い、運動機能を高めます。

会場 広瀬保健センター（木曜日午後）
井尻老人福祉センター（金曜日午前）
安来市民体育館（金曜日午後）

利用料 月額1,000円

問い合わせ 安来レクリエーション協会
Tel 22-1433

水中運動

月2回程度、運動機能の維持・向上を目標に水中運動を行います。

会場 スイミングスクール安来
（安来市民プール）

利用料 1回200円

問い合わせ スイミングスクール安来
Tel 22-0848

運動を一人で続けるのは難しいものです。
市では、介護予防のための運動教室を実施しています。（対象は、65歳以上で要支援・要介護の認定を受けていない人）
また、交流センターをはじめ、地域の中で運動教室や講演会などを開催している地区もあります。上手に活用にして介護予防に役立てましょう。

仲間と一緒に
楽しく運動しましょう



パワーリハビリ・転倒骨折予防

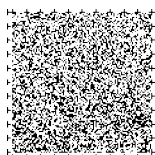
月2回、運動指導員によるストレッチ、バランス運動、筋力トレーニング、有酸素運動などの実技と介護予防の学習を通して、生きがいや健康づくりのきっかけを支援します。

会場 安来第一病院

利用料 1回200円

問い合わせ 安来第一病院 Tel 22-3411

●問い合わせ 安来市地域包括支援センター Tel 32-9110
高齢者安心課 Tel 23-3226



安来市立病院 改革プラン

平成23年度の評価を公表します

安来市立病院は、良質な医療を安定的に提供できる体制を構築するため、平成20年11月に「安来市立病院改革プラン」を策定し、経営の健全化に取り組んでいます。

昨年11月に開催した評価委員会（県市議会、医師会、健康推進協議会、医療連絡協議会、市立病院モニター会議で構成。委員10人）では、平成23年度の経営状況や数値目標の達成状況などについて検証・評価しましたので、その概要をお知らせします。

安来市立病院の 果たすべき5つの役割

① 二次救急、急性期医療の提供

市内の年間救急搬送人数の約6割に相当する944人を受け入れているほか、平成23年度から小児の夜間救急外来（週1回）を開設し、地域における救急医療の中核を担っています。

また、MRI（磁気共鳴撮影装置）、CT（コンピュータ断層撮影装置）を更新し、より短時間で高精度撮影が可能となり、救急診療に役立てています。

② 生活習慣病対策

糖尿病対策では、安来能義地域糖尿病管理協議会の一員として市内の医療機関と連携し、予防から治療まで一貫した対策を進めています。また、がん検診を日曜日に実施するなど、受診しやすい検診体制に努めています。

③ 保健・医療・福祉・介護の連携

地域の医療機関との連携に努めるとともに、地域の老人介護施設などと、救急時の対応や入所者の治療管理を含めた密接な連携に努めています。

④ リハビリテーションの提供

脳卒中などの発症後、早期に行う急性期リハビリテーションのほか、自宅から通所するリハビリテーションに対応しています。

⑤ 人材育成と確保

鳥取大卒後臨床研修医の地域医療実習の受け入れや、島根大医学生への情報発信、自治医大卒業の医師の派遣要請を行うなど、医師の育成確保に努めています。また、看護学校への訪問、地元高校での看護学生奨学金制度の説明、就職ガイダンスや新聞などによる募集広告の掲載など看護士の確保に努めています。



昨年3月に導入した「マンモグラフィ装置」（乳房X線撮影装置）。検診精度の向上と検査時間の短縮により、乳がんの早期発見や受診率の向上に役立っています。

経営健全化の数値目標と実績

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	実 績	実 績	目 標	実 績
経 営 収 支 比 率	96.0%	98.0%	101.7%	98.6%
医 業 収 支 比 率	92.3%	93.3%	99.5%	91.9%
職 員 給 与 費 比 率	59.7%	57.9%	54.6%	59.6%
材料費対医業収益比率	17.3%	16.4%	18.2%	15.6%
入 院	一般病床 新入院患者数 病床利用率	1,930人 81.6%	2,028人 81.5%	2,417人 90.0%
	療養病床（医療） 病床利用率	91.4%	90.1%	90.0%
	療養病床（介護） 病床利用率	80.2%	72.4%	90.0%
外 来	初 診 患 者 数	9,827人	9,252人	9,310人
	再 診 患 者 数	58,200人	60,490人	62,047人

- ・経常収支比率…病院事業会計の総費用に対する総収益の割合。100%以上で黒字。
- ・医業収支比率…医業費用（給与や諸経費など）に対する医業収益（入院・外来収益など）の割合。
- ・職員給与費比率…医業収益に対する給与費の割合。民間病院の平均は、54・3%。
- ・材料費対医業収益比率…医業収益に対する材料費（薬品、診療材料など）の割合。
- ・病床利用率…病床（ベッド）の利用率を示すもの。高率であるほどよい。

平成23年度の経営状況

●入院の平均診療単価は、平成22年度の診療報酬の増額改定とDPC（急性期の入院治療に対する診療報酬を、これまでの出来高払いから、疾病の種類に応じて一日当たりの診療報酬が定額となる制度）の導入により、目標値を上回っています。また、一人当たりの平均在院日数（入院日数）は18・6日となり、目標値20・8日以下を達成しました。

●患者数は、入院・外来とも減少し、目標値を下回っています。一方、市内唯一の救急告示病院として、市消防本部が行う救急搬送の約6割を受け入れていま



奥田原・西谷地区の巡回診療

す。また、地域医療拠点病院として、奥田原・西谷地区の巡回診療を行い、中山間地域の安定した医療の確保に努めています。

●単年度の経営状況を示す経常収支比率は、患者数が目標値を下回りましたが、診療報酬単価が目標水準を維持しており、平成22年度と比較して0・6ポイント改善しています。

評価委員会の総評

経営の健全化に向け、DPCの導入、病院経費の見直しなど、積極的に取り組んでいます。が、引き続き改革を推し進めることが不可欠です。特に患者確保は最大の課題であり、患者減少の原因把握と具体的な方策を講ずる必要があります。このため、地域の医療機関との連携強化、職員の接遇改善と徹底、待ち時間対策、診療時間の検討などにより、患者満足度の向上を図っていくことが重要です。

一方、地域の基幹病院として救急医療や中山間地域の医療などにおいて、上質な医療の安定した提供を維持することも求め

られています。

市立病院は、市民の生命と健康を守ることが最大の使命です。最も身近で利便性の高い優れた医療機関として認知されるよう、経営の安定化を図りながら、出前講座・ホームページ・広報紙などによるPR活動をさらに進める必要があります。

市立病院は、今後も地域医療を担う基幹病院として、救急医療、へき地医療、地域医療連携など良質で満足度の高い医療を提供し、信頼される病院づくりに取り組んでいます。



出前講座の様子
医師らが地域に出向き、病気予防や対処法などを指導しています。

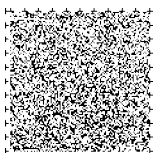
問い合わせ…

いきいき健康課

Tel 23・3207

安来市立病院

Tel 32・2121



だうん とぴくす



通算5千人突破!寒椿展

ツバキで地域活性化に取り組む、宇賀荘地区椿の里づくり実行委員会が1月18日から3日間、宇賀荘交流センターで寒椿展を開催し、市内外から訪れた約800人の観賞者を魅了しました。

作品は、地区住民が育てたツバキなど、97品種、約200点。赤やピンクなど色鮮やかな花を咲かせていましたが、実は、寒さの影響で直前までつぼみが固かったそうで、会場で早めに暖房を入れるなど、苦労して開花にこぎ付けました。

回を重ねるごとにファンが増え、節目となった10回目の今期間中、来場者が累計で5千人を記録。地区恒例の新春行事として、地域を彩っています。

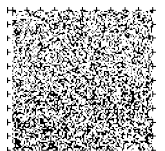


93歳の加藤さんは短歌歴73年。今も地域のサークル「さざなみ会」で短歌を楽しんでいます。

介護短歌の百首に選定

介護に関わる生活を通じて、感じた思いなどを詠んだ短歌を100首選ぶ、「NHK介護百人一首」(NHKなどが主催)。1月29日、平成24年度の100首が発表され、12,394首の応募の中から、加藤貞子さん(伯太町母里)の作品が選ばれました。

亡き夫の介護に15年間連れ添った加藤さんの作品は、十五夜の夕暮れ、夫と伯太川沿いを散歩し、満月を探し歩いた思い出を詠んだもの。「がんばって介護したから、お父さんからのご褒美」と、笑顔で受賞の喜びを語りました。





水車（直径1.2m）に水を流し発電開始。電球に光がともると、集まった会員らが拍手で祝いました。

手作り水車で発電

戦国大名尼子氏ゆかりの古道を整備し、ウォーキング大会開催や古道周辺の環境保全活動などに取り組む、「独松山古道の会」（山崎操会長）が、上吉田町別所の登山口付近に手作りの水車小屋を設置し、1月12日、小水力発電を始めました。

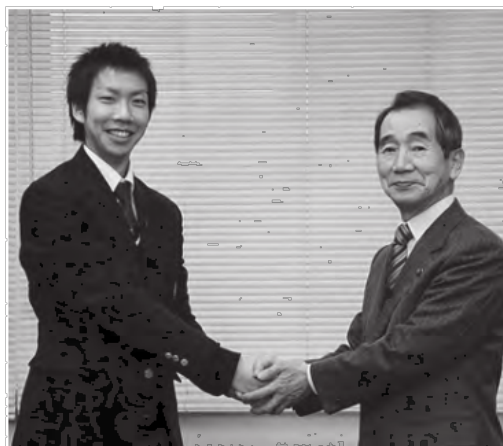
自然エネルギーの利用と啓発などが目的で、近くの小川から水を引いて水車を回し、発電装置は、風力発電などを自作する発明家の清水谷繁さん（米子市）の協力で製作。6ボルト3ワットの発電でLED電球を100個点灯でき、ハウレンソウの促成栽培を試験実施しながら、野菜栽培やイノシシ対策用の電気柵への電源利用などを目指します。



リオ五輪目指し飛躍中

1月に開催されたフェンシングの国際大会に出場した、安来市出身の長島徳幸さん（法政大学1年、安来高校卒）が2月1日、市役所を訪れ、近藤市長に大会の報告と今後の抱負を伝えました。

2つの国際大会に出場した長島さんは、ジュニアワールドカップオーストリア大会の個人戦で23位（日本人最上位）、ワールドカップフランス大会（シニア）では団体戦で9位の成績を収め、現在、ジュニアの国内ランクは2位。その健闘ぶりが光ります。今後の意気込みについて、「まずは、4月の世界ジュニア選手権大会（クロアチア）への出場を目指し、ゆくゆくは、3年後のリオデジャネイロ五輪（ブラジル）に出られるよう、がんばりたい」と力強く語り、さらなる飛躍を誓いました。



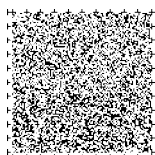
近藤市長と固い握手を交わす長島さん（写真左）。

あんなこと、こんなこと

地域のお話をお届けします。

皆さまからの情報も、

お待ちしております。



秘書課 TEL 23-3010





広島で安来の魅力発信

島根の特産品や観光情報などをPRする、「第16回島根ふるさとフェア2013」が1月19日と20日、広島市のグリーンアリーナを主会場に開催され、各市町村の出店で約150ブースが軒を連ねた会場は、約16万人の来場者であふれました。

安来市からは、8事業者が安来市の物産を販売・PRしたほか、観光や定住相談に関するコーナーも開設。養殖の「やすぎどじょう」を実際にすくう「どじょうすくいコーナー」は、子どもを中心に大人気となるなど、多くの来場者が足を止め、安来の魅力を味わっていました。

未来の名人ここにあり

桟敷や花道を設けた趣のある舞台・安来節演芸館で、子どもたちに伝統芸能に親しんでもらおうと、子供安来節大会が2月2日に行われました。参加した、児童から高校生までの49人が、唄や踊りなどを披露して、観客を沸かせました。

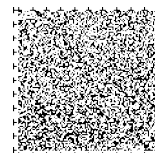
どじょうすくい踊りで出演した、みゆき保育園の園児たちは、ユーモラスな所作と愛嬌たっぷりの笑顔を織り交ぜ、なんとも言えない可愛らしい踊りを披露。また、大人顔負けの声量で唄い上げる子どももあり、会場では、未来の名人たちに盛んな拍手が送られていました。



多彩な才能キラリ★

市内の小・中学校の特別支援学級に通う子どもたちが創作した作品を一同に展示する、合同作品展「ふれあい広場」が2月1日から4日間、安来プラナで開催されました。

子どもたちの授業での取り組みの成果を広く紹介しようと、毎年、市教育研究会特別支援教育部が主催しています。会場には、72人が手掛けた、図画・工作・手芸・習字など431点が並び、アイデアにあふれ、力のこもった作品の数々が、買い物客や見学に訪れた児童たちの目を楽しませました。



新着図書紹介



安来市立図書館

Tel 22-2574

笑うハーレキン 道尾秀介
談志が死んだ 立川談四楼
山中鹿介 童門冬二
キングを探せ 法月綸太郎
完全黙秘の女 法坂一広
山本美香という生き方 山本美香
小さい宇宙をつくる 藤本順平
八重の桜 前編 NHK出版

〈お子さんのほん〉

おしりをしりたい 鈴木のりたけ
オニたいじ 森絵都
びんぼうがみじゃ 苅田澄子
妖怪の日本地図3 千葉幹夫
メダカ・フナ・ドジョウ
市川憲平

ひろせ図書室

Tel 32-4455

動物学科空手道部2年高田トモ！ 片川優子
にほんご万華鏡 人生を豊かにする閑学 小野寺牧子
50歳からはじめるナチュラル押しツボの教科書 土屋書店
お母さんが命がけであなたを産みました 内田美智子

〈お子さんのほん〉

セミ神さまのお告げ 宇梶静江
ジャックと豆の木 ジョン・シェリー
10歳までに身につけたい「座る力」 斉藤 孝

はくた図書室

Tel 37-0050

剣と紅 高殿 円
冷血 上・下 高村 薫
宝くじが当たったら 安藤祐介
噂の女 奥田英朗
シロシロクビハダ 柳月美智子
ふる 西加奈子
夢をかなえるゾウ2 水野敬也
何者 朝井リョウ

〈お子さんのほん〉

つるばら村の魔法のパン 茂市久美子
劇団6年2組 吉野万理子
ブンダバーと会ったら くぼしまりお

●そのほかの新着図書情報は…<http://www.city.yasugi.shimane.jp/tosyo/>

歌会始で佳作に選出

平成 25 年歌会始（お題「立」）の一般応募で、角森玲子さん（宮内町）の作品「ふる里の山の稜線立葵今年是一緒に見る人が居て」が、約1万8千首の応募の中から、入選（10 首）に次ぐ佳作（16 首）に選ばれました。

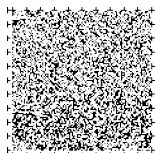
作品は、車の運転中、母のふるさと広瀬町の山並みと町内の民家に咲くタチアオイ（立葵）の花を、同乗者と一緒に見て感動したことを詠んだ短歌。「1人よりは2人で見る方が美しいと感じ、ひらめいた」と、歌に込めた思いを振り返ります。

短歌や川柳、俳句は、独学で始めた趣味という角森さんは、これまでに数々のコンクールで受賞を重ね、昨年は、一年間で62作品が入賞。その最後を飾ったのが今回の受賞で、「とても光栄。（入選して）皇居に招かれるよう、これからも精進したい」と、抱負を語りました。



▲母の福島ヒロコさん（安来町・写真右）と受賞を喜ぶ角森さん（左）。2人が手にしている賞状は、角森さんが、昨年入賞した62作品の中で、特に嬉しかったという3作。
※左から、「歌会始（短歌）」「大伴家持大賞（短歌）」「井出町橘諸兄文学賞（川柳）」。

●1月16日、皇居・宮殿で開かれた、新春恒例の宮中行事「平成 25 年歌会始の儀」で、高円宮妃久子さまが、「冬晴れの雲なき空にそびえ立つ雪の大山いともさやけき」と、冬晴れの日、コハクチョウの撮影のために訪れていた安来平野よりご覧になった大山の美しい姿を詠まれました。





行政

選挙人名簿の登録と縦覧 選挙管理委員会事務局

TEL 23・3135

平成25年1月1日現在（農業委員会委員選挙人）および平成25年3月1日現在（永久選挙人）をもって調製される各選挙人名簿を次により縦覧します。

なお、登録される資格があるのに名簿に登録されていない場合、縦覧期間中に異議の申出書を選挙管理委員会に提出することができ

ます。
縦覧場所 選挙管理委員会（安来市）

● 農業委員会委員選挙人名簿

登録対象者 農業委員会委員の選挙権を有し、1月10日までに選挙人名簿登録申請書を農業委員会に提出した人。

縦覧期間 2月23日（土）～3月9日（土）8時30分～17時

● 永久選挙人名簿

登録対象者 平成5年3月2日までに生まれた人で、平成24年12月1日までに住民登録を済ませ、引き続き3カ月以上安来市に居住する人。

縦覧期間 3月3日（日）～3月7日（木）8時30分～17時

「第2期安来市障がい者基本計画（案）」に対する意見を募集します

申問 福祉課 TEL 23・3216
FAX 23・3281 / メール

fukushi@city.yasugishima.nagasaki.jp

〒692-0404 安来市広瀬町広瀬703番地

市では、平成25年度から5年間の計画期間とする、

市が取り組むべき障がい者施策の基本的な方針を定めた、「第2期安来市障がい者

基本計画」の素案を作成しました。

この素案について、市民の皆さんからの意見を募集します。

閲覧場所 福祉課（広瀬市）、市民課④窓口（安来市）、

伯太市

※市のホームページでもご覧いただけます。

応募方法 ご意見・住所・氏名・連絡先を明記の上、

郵送・ファクシミリ・電子メール・閲覧場所への直接

提出などの方法で提出してください。（様式自由）

募集期限 2月28日（木）

安来市地球温暖化対策地域協議会委員（市民委員）を募集します

申問 環境衛生課

TEL 23・3102

地域の地球温暖化対策について協議・推進するため

の、安来市地球温暖化対策地域協議会の委員（市民委員）を募集します。

（詳しくは、

市のホームページをご覧ください）



市内の医療機関等での勤務を目指す人を応援します

平成25年度 安来市医学生・看護学生等の奨学生募集

将来、市内の医療機関等に医師、看護師として勤務する意志のある医学生や看護学生に対し、奨学金を貸与します。



対象 安来市出身者で、大学医学課程または、看護学課程もしくは看護師養成施設に在学する人。（安来市立病院の奨学金制度を受けている人を除く）

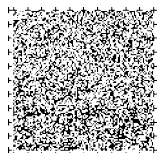
定員 医学生3人、看護学生10人程度。

奨学金 ・医学生…月額5万円。
・看護学生…月額3万円。

貸与期間 1年間

応募期限 4月30日（火）

申問 いきいき健康課 TEL 23・3207



対象 安来市に在住する20歳以上の人。

募集人数 6人。

募集期限 3月13日（水）

任期 2年（4月1日～平成27年3月31日）

成27年3月31日）

道路・河川・港の清掃ボランティアを募集します

申問 島根県広瀬土木事業所

TEL 32・4150

島根県が管理する、国道432号、県道、河川（飯梨川、伯太川など）、安来

港の清掃・草刈りを行っていただくボランティア（団体、個人）を募集します。

この取り組みは、「ハートフルしまね」の名称で、現在、県内で約900団体（約6万4千人）の皆さん

にご協力をいただいております。実費程度の助成や傷害保険の適用があります。

詳しくは、島根県のホームページまたは広瀬土木事業所（管理グループ）で確認ください。

庁舎 保健センター 申し込み
 地域センター 交流センター 問い合わせ

統一標語「消すまでは 出ない行かない 離れない」

3月1日(金) ~ 3月7日(木) **春季全国火災予防運動**

空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季です。
 火気の取り扱いには十分注意しましょう。
 ※期間中は、夜の9時にサイレンを鳴らします。
 お休み前に今一度火の元を点検しましょう。



火災予防習字コンクール作品展示

火災予防運動の一環として、市内の小学生から応募のあった作品のすべてを展示します。



日程

広瀬中央 2月25日(月)~2月28日(木)
 安来プラーナ 3月1日(金)~3月4日(月)
 はくた図書室 3月5日(火)~3月8日(金)

消防本部予防課 TEL 23-3426

安来市ごみ収集指定袋・外袋の広告掲載募集

種類・広告枠・数量

	収集指定袋の種類	広告を記載する収集袋・広告枠(cm)	作製予定数
①	燃やすごみ収集用 (大)	指定袋 (20枚) 外袋 (1枚)	縦15×横32 縦4×横18 19,000 組
②	燃やすごみ収集用 (中)	指定袋 (20枚) 外袋 (1枚)	縦10×横30 縦4×横16 25,100 組
③	燃やすごみ収集用 (小)	指定袋 (20枚) 外袋 (1枚)	縦8×横20 縦4×横14 10,000 組
④	分別収集用 ※広告記載は外袋のみ	(大) 外袋 (1枚) (中) 外袋 (1枚) (小) 外袋 (1枚)	縦4×横18 縦4×横16 縦4×横14 24,200 枚

掲載位置 指定袋は裏面に1枠、外袋は表面に1枠。

募集対象 事業者 (広告代理店も可)

広告主 ①~④ごとに1事業者 (同事業者の重複可)

掲載期間 平成25年度に作製するもの。

掲載料 ① 47,500 円 ② 62,750 円 ③ 25,000 円 ④ 12,100 円
 ※作製枚数により変動するため、上記掲載料は見込みです。

応募方法 申込書に必要書類を添え、環境衛生課まで提出。(郵送可)

募集期間 2月20日(水)~3月21日(木)必着

決定方法 市が定める要綱などに基づき審査・決定します。
 ※募集数を超える場合は抽選。

環境衛生課 TEL 23-3100

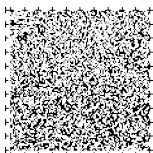
島根県職員等採用ガイド
 ス(要申込)
 島根県人事委員会事務局
 TEL 0852-22-5438
 県職員・警察官の仕事に
 関心のある人を対象に、仕
 事内容や採用試験の概要を
 説明します。
 日時・場所 3月16日(土) 13

時30分~15時、島根県職員
 会館(松江市内中原町)
 対象職種 事務系(行政、
 警察事務など)、技術系(総
 合土木など)、警察官※教
 員、県立病院の医療技術系
 職員(看護師など)を除く。
 定員 130人。
 内容 仕事内容、採用試験

の概要・日程、若手職員と
 の意見交換など。
 平成25年度から新たな県職
 員採用試験制度がスタート
 島根県人事委員会事務局
 TEL 0852-22-5438
 島根県では、「行動力」
 「創造力」「チャレンジ精神」

を持った、より多くの人に
 受験していただけるよう、
 平成25年度から新たな試験
 制度をスタートします。
 対象試験 県職員採用大学
 卒業程度試験の「行政」お
 よび「警察事務」区分。
 新たな試験制度のポイント
 ▽専門試験の負担が軽くな

ります(出題数の軽減など)
 ▽討論型個別面接を実施し
 ます(行政区分のみ実施)
 その他 詳しくは、島根県
 人事委員会のホームページ
 でご確認ください。



しまね企業ガイドンス

④ ふるさと島根定住財団

Tel 0120・67・4510

企業の採用担当者による
会社概要や採用予定に関する
情報を提供します。

日時・場所 ▽出雲会場：
3月9日(出)、ニューウエル

シティ出雲 ▽松江会場：
3月10日(日)、くにびきメッ

セ※時間はいずれも13時～
16時

対象 平成26年3月に大学、
短期大学、高等専門学校、
専修学校などを卒業予定で、
県内就職を希望する人。

その他 松江会場は、その
他オプショインイベントがあ
ります。(詳しくは、シヨ
ブカフェしまねのホーム
ページをご覧ください)

縁結び就職面接会

④ ふるさと島根定住財団

Tel 0120・67・4510

企業の採用担当者との就
職面接会です。

日時 3月3日(日)13時～16
時30分

場所 島根県民会館

対象 3月に大学等卒業予
定者、大学等卒業後3年以

内の未就職者。

その他 参加企業は「シヨ
ブカフェしまね」のホーム
ページに掲載。

平成25年度奨学生を募集し
ます(2次募集)

④ 島根県育英会

Tel 0852・28・1981

大学等の入学時に必要な
経費の一部を有利子でお貸
しします。

応募資格 大学等に進学す
る島根県出身者。

募集人員 10人程度。

貸与額 50万円または10
0万円。

貸与時期 平成25年5月末。

返還方法 大学等卒業後10
年間で返還。

願書受付期限 3月19日(火)

保健

乳幼児健診

④ 子ども未来課

Tel 23・3222

※時間は受付時間です。

④ 4か月児健診

日時・場所 3月21日(木)13
時～13時45分、広瀬健

対象 平成24年10月生まれ

食育フェスティバルinやすぎ「食でつながる家族の輪」

④ 子ども未来課

Tel 23・3222

日時・場所 3月3日(日)9
時30分～13時、広瀬健

内容 ▽絵本の読み聞かせ
ライブ(10時～10時30分、
出演：よしととひつた)

▽安来市食生活改善推進協
議会・学校給食による試食
(10時30分～) ▽食育講
演会「食育は親子のコミュ

ニケーション」男性の育児
家事参画」(11時～12時
10分、講師：papaLi
fe 研究所代表・北佳弘
氏) ▽保育所・保育園給食
レシピの展示、健康相談、

のお子さん。

持ち物 母子健康手帳、ア
ンケート。

④ 9か月児健診

日時・場所 3月21日(木)9
時～9時45分、広瀬健

対象 平成24年5月生まれ
のお子さん。

持ち物 母子健康手帳。

④ 1歳6か月児健診

日時・場所 3月14日(木)9
時～9時45分、伯太健

対象 平成23年8月生まれ
のお子さん。

持ち物 母子健康手帳、ア
ンケート、子ども用歯ブラシ。

④ 3歳児健診

日時・場所 3月14日(木)13
時～13時45分、伯太健

対象 平成21年12月生まれ
のお子さん。

持ち物 母子健康手帳、ア
ンケート、子ども用歯ブラ

シ、当日朝の尿。

「クイズでぎぎよ！魚釣
り」ゲーム、「たべもの☆
DEピンゴ」など。

その他 講演会の参加およ
び講演時の託児は要申込。

子育て支援センター
「幼児の食事クッキング」

(要申込)

④ 子ども未来課

Tel 23・3222

子どもの野菜嫌いで不安
や悩みを抱えている保護者
の皆さんにおすすめのクッ
キング教室。クッキングを
しながら、悩みを解消して
いきましよう。

日時・場所 3月15日(金)10
時30分～11時30分、広瀬健

その他 託児あり(人
数制限があります)



子育て支援センター「シェ
フの味覚講座」(要申込)

④ 子ども未来課

Tel 23・3222

フランス料理シェフによ
る、子どもに離乳食や食事
を作る保護者に向けた味覚
講座。親の食育として知っ
ておきたい味覚講座です。

日時・場所 3月25日(月)10
時30分～11時30分、広瀬健
その他 託児あり(人数制
限があります)

BCG予防接種

④ 子ども未来課

Tel 23・3222

日時・場所 3月13日(水)13
時15分～13時45分(受付時
間)、広瀬健

対象 平成24年11月生まれ
のお子さん。

持ち物 母子健康手帳、予
防接種予診票。

庁…庁舎

健…保健センター

申…申し込み

地…地域センター

交…交流センター

問…問い合わせ

マタニティ教室（要申込）

子ども未来課

TEL 23・3222

赤ちゃんを迎える前に、夫婦でこれから始まる子育てについて一緒に考えてみませんか。

日時 3月8日(金)13時15分～13時30分（受付時間）

場所 広瀬

対象 妊婦とその夫。

内容 助産師さんのお話会「赤ちゃんを迎える心と身体への準備」

講師 島根県立大学教授・三島みどり氏。

申込期限 3月6日(水)

持ち物 母子健康手帳。

離乳食教室（要申込）

子ども未来課

TEL 23・3222

日時 3月19日(火)

▽7～8カ月児：9時45分～10時（受付時間）

▽12～18カ月児：13時30分～13時45分（受付時間）

場所 広瀬

申込期限 3月15日(金)

持ち物 母子健康手帳、冊子「離乳食の進め方」（4

か月健診時に配布）、参加

費100円、おてふき、12～18カ月児は子ども用歯ブラシ。

教室・講座

安来市学習訓練センター

パソコン講習会・講座など

申問 安来市学習訓練センター

TEL 23・1750

※いずれも同センターを会場に開催します。

パソコンなんでも相談日

ちよつと聞きたい小さな疑問の解決方法教えます。

操作全般の質問も対応可。

日時 3月4日(月)・11日(月)・18日(月)10時～12時

受講料 1回500円。

その他 △パソコン持込可

▽申込不要。

パソコン個人指導

分からないことがマン

ツーマンで集中的に学べ、

自分のペースで進めること

ができます。（1回2時間）

受講料 1回3000円。

その他 △受講日時は事前

にご相談ください。▽パソコン、デジカメなど持込可。

パソコン教室「初心者

コース」（オフィス201

0・ウインドウズ7対応）

日時 3月21日(木)・25日(月)・26日(火)・27日(水)（4日間）

9時30分～12時30分

受講料 5000円（テキスト代別途1000円）。

その他 △定員15人（5人

以上で開講） △要申込

▽パソコンの持込不要。

▽パソコンの持込不要。

庭木剪定入門

自宅のお庭を気軽に手入

れしてみませんか。訓練セ

ンターの樹木を使い、専門

家が基礎から分かりやすく

指導します。

日時 3月18日(月)13時～16

時

受講料 500円。

持ち物 剪定バサミ、ノコ

ギリ、防寒具、雨具。

その他 △5人以上で開講

▽要申込。

年金入門講座（知ってお

きたい年金知識）

年金に関心のある人や退

職前の人を対象に、わかり

やすく説明します。

日時 3月17日(日)10時～12

尼子歴史講座

戦国大名尼子氏ゆかりの地の歴史を聞いて、戦国ロマンにふれるひとときを過ごしませんか。



対象 3月13日(水) 9時30分～12時

場所 広瀬 絆センター集合

内容 独松山城砦群巡り
講師：出雲尼子を興す会 中尾隆義氏。

参加料 無料。

申込期限 3月8日(金)

その他 雨天時は、広瀬町民会館で座学。

申問 広瀬地 TEL 23・3201

時

持ち物 筆記用具。

その他 △定員100人程度

▽受講無料 △要申込。

職業訓練受講生募集（IT事務実践科）

再就職に向けてパソコン

技能・応用力のスキルアッ

プが目標です。

期間 5月1日～7月26日

（原則、土日・祝日を除く）

対象 ハローワーク所長の

受講指示または推薦が受け

られる人。

受講料 無料（テキスト代

は個人負担）

その他 △3月中旬から募

集開始 △定員15人 △雇

用保険受給者は基本手当な

相談

消費者問題弁護士相談

（無料・要申込）

申問 市民相談室

TEL 23・3068

日時・場所 3月21日(木)9

時～12時、安来中央

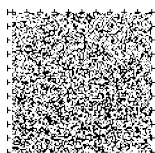
内容 消費者問題（悪質商

法や多重債務、事業者に対

する苦情など）。



イベント情報
QRコード



出前安来市消費生活センター（無料・要申込）

①市民相談室 Tel 23・3068
日時・場所（申込先）

3月26日（火）13時30分～16時、やすぎ懐古館一風亭

内容 消費者問題（悪質商法や多重債務、事業者に対する苦情など）、生活に関するお困りごと。

心の健康相談（無料・要申込）

①松江保健所

Tel 0852・23・1316

・福祉課 Tel 23・3216

日時・場所 3月7日（木）

11日（月）・28日（木）13時30分～

15時30分、松江保健所

3月14日（木）13時30分～15時30分、安来中央

②内容 心の病気や悩み、飲

酒問題、もの忘れなど。

しまね東部若者サポートス

テーション出張相談会（無

料・要申込）

③④サポステ松江

Tel 0852・33・7710

メール shimane-ess@oasis.

oan.ne.jp

日時・場所 3月14日（木）11

時～16時、安来中央

対象 15歳から40歳未満の

人または、家族・保護者。
内容 就労、社会との関わりについての悩みなど。
申込期限 3月12日（火）

各種定期相談は市民カレンダーでご確認ください

相談時間と問い合わせ先は次のとおりです。

生活相談 9時～12時
▽社会福祉協議会 Tel 23・1855

行政相談所 安来・広瀬
会場：9時～12時、伯太会

場：10時～15時 市民相

談室 Tel 23・3068

特設人権相談所 9時～

12時 人権施策推進課 Tel

23・3095

栄養相談（要申込） 安

来会場 9時30分～17時、広

瀬会場 9時～12時 くい

いき健康課 Tel 23・3220

イベント

スプリングコンサート

「マリンバの連弾」（無料）

場所・①安来市立図書館

Tel 22・2574

日時 3月16日（土）17時30分

（約1時間）

奏者 佐藤真由美氏、江角

亜弥氏。

弥生文化シンポジウム「東・

西日本からみた山陰の弥生

社会」（無料・要申込）

①②むきばんだ史跡公園

Tel 0859・37・4000

山陰地方を代表する妻木

晩田遺跡、青谷上寺地遺跡

などの調査成果が、弥生時

代研究の進展に果たした役

割や、今後果たすべき役割

を検証します。

日時・場所 3月9日（土）13

時～16時30分、米子市淀江

文化センター

内容 古代の淀江紙芝

居」紙芝居作家・松村宏氏

▽記念講演「邪馬台国前夜

の山陰」、講師は明治大学

名誉教授・大塚初重氏

▽パネルディスカッション

「東・西日本からみた山陰

の弥生社会」

申込方法 住所・氏名・連

絡先・電話番号・「シンポ

ジウム参加希望」を明記の

新春やすぎ寄席 桂吉弥落語会 in 安来



桂 吉弥さん
（安来市ふるさと大使）

日時 3月3日（日）18時30分～
（18時開場）

場所 安来市民会館大ホール

入場料（前売）

- ・一般 2,000 円。
- （当日 2,500 円）
- ・高校生以下 1,000 円。

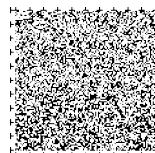
出演 桂吉弥、桂歌之助、桂佐ん吉。

前売券取扱所

でじたる工房いちかわ（安来プラーナ内）、
カメラのハマダ（安来ショッピング内）、
安来市民体育館、安来市民会館ほか。

その他 未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。

①桂吉弥後援会・金山
Tel 090・3375・3629



三瓶小豆原埋没林公園入場無料キャンペーン

①三瓶小豆原埋没林公園
Tel 0854・86・9500

安来市民を対象に、3月

の入場料が無料となります。

この機会に、出雲神話の

舞台三瓶山の地底にそびえ

る縄文の巨大地底林へ、ぜ

ひお出かけください。

開園時間 9時～17時（最

終入園16時30分）

場所 三瓶小豆原埋没林公

園（大田市三瓶町）

持ち物 免許証などの住所

の確認ができるもの。

庁舎 保健センター 申し込み
地域センター 交流センター 問い合わせ

その他

ホームステイ受入家庭募集

① 安来国際交流協会事務局
局・仲佐 TEL 23・1048

オーストラリア・ブリス

ベン市の小学生が安来市内で3泊4日のホームステイ

をします。この機会に異文化交流を図ってみませんか。詳しくは、お問い合わせください。

ホームステイ予定日 4月

2日(火)～4月5日(金)

募集家庭数 18家庭

募集期限 3月10日(日)

市民手作りの
鹿介映画

「おもいびな」がDVD化



郷土の戦国武将・山中鹿介の魅力を広く知ってもらうと、昨年、実行委員会(※)を立ち上げて製作した短編映画「おもいびな」のDVDが完成しました。

映画は、鹿介の郷土愛や家族愛がテーマで、尼子氏と毛利氏との合戦シーンも収録。月山富田城跡や飯梨川などで撮影を行い、百人を超えるスタッフや主演者も市民ボランティアが中心となった手作り作品です。

DVDは、500枚作製し、市内の小中学校や交流センター、図書館(室)などに贈呈しているほか、希望者には販売もしています。ぜひ、ご覧ください。

※製作：「映画おもいびな製作実行委員会」(しまね映画祭安来市実行委員会、山中鹿介の大河ドラマ放映実現をめざす会、出雲尼子を興す会ほかで構成)

「おもいびな」DVD

頒布価格：1枚千円。

・取扱所：広瀬(広瀬)、安来市民会館。

② 広瀬(山中鹿介の大河ドラマ放映実現をめざす会事務局) TEL 23・3201

「スポーツ安全保険」に加入しませんか(平成25年度の受付は3月1日から)

スポーツ、文化・ボランティア・地域活動を行う5人以上の団体(グループ)が対象です

対象となる事故 団体活動中の事故(往復中を含む) 保険期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日

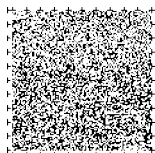
加入区分・掛金・補償額(加入区分は、下表のほかにもあります)

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金(1人当たり)	傷害保険金額			賠償責任保険(限度額)
				死亡	後遺障害(最高)	入院(日額) 通院(日額)	
中学生以下	スポーツ活動、文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円 1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし身体賠償は 一人1億円
高校生以上	文化・ボランティア・地域活動	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円 1,500円	
	スポーツ活動、指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円 1,500円	
	子どもへのスポーツ活動の指導・審判	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円 1,000円	
65歳以上	スポーツ活動	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円 1,000円	

● 申込書は、地域振興課(安来中央内)に設置しています。

※スポーツ安全協会のホームページ(<http://www.sportsanzen.org>)で、インターネットによる加入受付を行っています。

③ スポーツ安全協会島根県支部 TEL0852-21-5388
・地域振興課 TEL23-3075





あら
エッサくん

「伸びる間もなし」の巻

石田行生



ぼくらまごさぶろう ひじらいけ
ト蔵孫三郎と日白池

いま やく ねんまえ え ど じ だい あらしむら ひじらいけ
今から約300年前の江戸時代、荒島村に日白池とい
う大きな池があり、辺りには湿地が広がっていました。
仁多郡竹崎村(現在の奥出雲町)からやってきたの
がト蔵孫三郎という青年。日白池を眺め、「この池を埋
め立てて田にすれば、村人は豊かになるぞ」と、決意し
ました。しかし、この巨大な池をどのように埋めるの
でしょう。中国山地で砂鉄を採る仕事をしていた孫三
郎は、水を流して土砂と砂鉄を分ける「かな流し」を
ヒントに、山から水路を通して土砂を運ぶ方法を考え
ました。ところが、水源地から日白池までの水路の距
離は約7^きもあります。そこで、山あいや谷に通した
水がうまく流れるよう、水圧や傾きなどを計算しながら、
途中で堤を造ったり、長い谷には樋を吊り上げたり
するなど、いろいろな工夫を取り入れて、土砂を池
に送りました。

こうじ はじ ねんご ひじらいけ う
工事を始めてから16年後。ようやく日白池の埋め
立ては終わりました。そして、この工事に掛かったお
金は、すべて孫三郎が支払ったのです。人びとは、水田
に生まれ変わっ
たこの地を見て
たいへんよろこ
び、**「ト蔵新田」**と
呼んで、立派な働
きを感じまし
た。

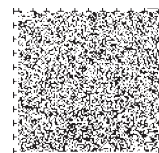


やすぎ再発見

ト蔵新田 (荒島町・西荒島町・日白町)

松江市東出雲町との境に広がるト蔵新田には、孫三郎が開墾する
まで、日白池と呼ばれる約5^きの大きな池があり、満潮時は中海の塩
水が流れ込むため、農業はできないと言われていました。当時の土木
工事は人力が主流で、この池を埋め立てて田を造ることを着想するだ
けでも、人びとは信じられなかったことでしょう。

孫三郎は、このほかにも赤江町別石の新田開
発や十神山の植林など、多くの公共事業に私財を
投じて尽力し、地域発展のためにその生涯を捧げ
ました。



古代出雲王陵の丘造山公園から望むト蔵新田
(写真右上は山陰本線と中海)

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています●
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください●
- 自治会宛の発送等につきましては、市民参画課(TEL23-3067)までご連絡ください●



古紙配合率100%再生紙を使用しています